

NPO やすらぎの郷 いいの

安心して住み続けられるまちをつくりたい！

生活支援

雪かき奮闘中



少しだけ話し

多くを語らせて

笑みつつ去りぬ

若きナースは

会員 阿曾 昭三郎



※新年恒例の歌会始、今年のお題は「語」。

全国2万人の応募から、10人の入選に次ぐ佳作30人に選ばれる。東北で2人のみ

## みんなの広場



### 成年に犬を想う

私は犬が好きである。幼少から家には犬がいて子育て中も3匹の犬を飼った。3匹目は名をロビン、雌の雑種の柴犬で子供が友達からもらってきた。生後3か月くらいだったと思う。すくすく育ってくれて、なかなか優しい顔立ちの犬で賢くて振る舞いが立派だった。周りに騒ぐ犬が寄って来ても動揺せずにじっと観察しにらみを利かして最後に「ワン」と低い声で一喝する。しかしそんなロビンにも変化があった。隣の家の子供が生まれ鳴(泣)き声が聞こえると、不思議なことに落ち着かなくなり垣根からじっと心配そうに眺めている姿があり、「クーンクーン」と低く泣(鳴)き、そのうち乳房が張ってきて授乳でもしている状態になって犬自身も気にしている様子があった。心配して調べると「犬には擬妊娠がある」とのことが分かった。母性本能から身体も変化したようだ。その後出産することもなくオールドミスで通し17年の命を閉じた。



人は子育てから成長するといわれるが、私たち家族はこの犬との生活からいろいろもらって家族として頑張ってくれた気がする。家族の波打つ心の問題も乗り越えられたと感謝している。亡くなってから8年になるが、大きな額にした写真は今日も私たちを見守ってくれている。

<会員 山口 孝子>

### これからも

就職を期に飯野町に来て、早いもので20年以上が過ぎました。

初めは、知り合いもなく、土地勘もまったくなかったため不安と緊張でいっぱいでしたが、職場でも訪問先でも、皆さん優しい方々ばかりで、温かく受け入れていただき不安はすぐ消えました。

また、訪問先のおじいちゃんおばあちゃんから昔の町並みや活気のある時代の話をつうぐ度に、町への愛着が増してきました。

結婚・出産を経て、公私ともに飯野町への根付いてまいりましたので、今後はこれまでお世話になった御恩返しがいかに出来ればと思います。

<当NPO事務 高橋 満子>

# ごあいさつ

福島市立子山・飯野地域包括支援センター

所長 荒木 健夫

平成28年1月に現職となり、丸2年が経ちました。この間は、やすらぎの郷のケマネジャーやヘルパーの皆さんに大変お世話になりました。また、昨年亡くなった朝倉健さんには、生活困窮者に仕事を提供して頂いたり、認知症の一人暮らしの方を地域一丸となって支えるあり方を教わりました。後任の斎藤事務局長には、有償ボランティアとして一人暮らしの認知症の方を支えて頂いております。

今年は、飯野町と福島市が合併して10年の歳月を迎えます。また、団塊の世代が75歳以上となる2025年まで7年となります。さらに、4月には、医療・介護・障がいのトリプル報酬改定が

予定されています。少子高齢化が加速する中、この地域ならではの地域包括ケアシステムを作っていく必要があります。在宅でも施設でも、それぞれが望んだ所でその人らしい生活が送れるよう、様々な連携の中で信頼関係に基づいた地域での強い絆を必要とします。

発足時、飯野町を愛する多くの方々の協力で立ち上がった特定非営利活動法人やすらぎの郷が、介護保険事業だけでなく、有償ボランティアなどを通して元気高齢者の方々が活躍できる場の一つになっていただけるものと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。



保健師 鈴木由美子さん（中央）  
社会福祉士 鈴木むつみさん（右）とともに

## <安心して住み続けられるまち リレートーク その2>



### 草花、野菜、そして瓢箪

会員・監事 高野 孝夫

やすらぎの郷の監事をお受けしてから、役員会などを通じて役員、職員のみなさんの熱意、努力にはいつも感心させられてきました。

何か自分にも出来ること、お役に立てることはないものかと思いなながらも、草花・野菜・瓢箪の栽培で、土に親しむ日々を過ごしております。

草花は、サルビア、パンジーなど種まきから手がけて数千本の苗を育て、きれいな花を皆さんに見ただけならばと、道路沿いの畑や公共施設などに植栽します。

野菜は、なかなか思うようには出来ませんが、新鮮なものを、ご近所やお世話になっている方に差し上げて喜んでいただけることを励みに作っています。

瓢箪も、種まきから収穫まで、そして加工と、手間のかかる仕事ですが、瓢箪には、見る人の心を和ませる力があると信じながら、冬の間は、加工の作業をしているところです。

今年も、地域の皆さんとの、ささやかな繋がりを求め、無理をせず続けていこうと思っています。



NPO やすらぎの郷いいの

福島市飯野町字前川16

TEL 024-563-4804

ホームページ <http://yasuraginosatoiino.jp/>



生活支援ボランティア・  
ホームヘルパー募集!



一言一語

飯野の早春は「つるし雛まつり」の賑わいと共にあり、東西南北の里山でゆっくりとすすむ草木の芽吹きにも心とみえます。寒暖交錯しながら時節は3月に…。

本会報に「地域包括支援センター」荒木所長の挨拶をいただきました。NPO創設5年目を歩む私たち、エールにこたえて前進しましょう!(S)